

えんちょうだより その1

2016年4月13日

お祈りすること

わたしたちはうれしいとき、かなしいとき「おとうさん」「おかあさん」とよびますよね。そしていつも一緒にいてほしいと思いますが、できないときもあります。でも大丈夫！私たちに命を与えてくださった神さまは目に見えませんが、私たちが大好きで、いつも見ていてくださいます。暗い夜寝るときも一緒です。このやさしい神さまにお話することを「お祈り」と言います。お祈りすると、なんだかうれしくなりパワーが出てきます。園では、朝、お弁当のとき、お帰りときにお祈りしていますね。外で花、虫、小鳥、広い空を見たとき「神さま大好き」「ありがとう」と、お父さんやお母さん、先生にお話するように「お祈り」してみましょう。（神様の愛を伝える「小さな種」より引用・・・

4/7 始業式にてお話ししました。）



はじめの一步

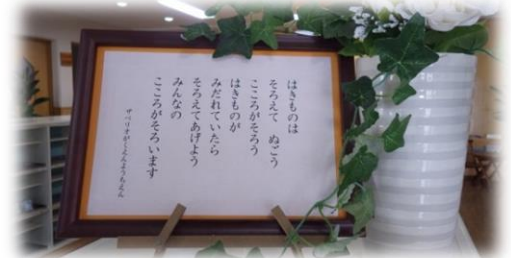
ザベリオ学園幼稚園に春の訪れを知らせる早咲きの桜が満開となり、いよいよ2016年度がスタートしました。保護者の皆様いかがお過ごしでしょうか。

新入園児の皆様は、園に送り出してから帰ってくるまで、お子様以上に期待と不安でいっぱいのことだと思います。はじめの一步から数日、確実に二歩三歩と歩みを進めております。ご安心ください。進級児は、お兄さんお姉さんになった喜びでちょっぴり・・・すごく・・・背伸びをして・・・頑張っています。どうぞどうぞ家に帰ったら、たくさんの「がんばってるね。」を言葉で表情で、身体で表現してあげてください。子ども達にとって「褒めてもらえた」「認めてもらえた」は最大の栄養となり次なる成長の源になるはずです。園児も保護者様も教職員も皆「はじめのいーーーっぽ！」です。ともに、子ども達を囲んで楽しい1年を過ごして参りましょう。ご協力お願いいたします。

ザベリオ幼稚園の玄関で育つ

さて、ザベリオ幼稚園の玄関で何が育つと思いますか。いつも来園してくださるお客様からザベリオの子ども達は「元気なあいさつがいいですね。」と褒めていただけます。そうなんです。玄関で気持ちの良い挨拶が育ちます。「あいさつは一日にして成らず」毎日の繰り返しと大人である私たちの挨拶に対する姿勢が伝わっていくのだと思います。

保護者の皆様も、新年度がはじまったばかりですが、登降園時にどンドン「あいさつ」という形でお声を掛け合ってください。子ども達のようにすぐお友達になれますよ。



ザベリオ幼稚園園長 渡部利智子